



各報道機関 御中

神戸薬科大学地域連携サテライトセンター 竣工

薬学領域の拡大と高度化の推進、地域に根ざした学生の教育の展開を目指して

学校法人神戸薬科大学(理事長:宮武健次郎)は、健康サポート活動の社会展開活動拠点として、「神戸薬科大学地域連携サテライトセンター」(建物概要:鉄骨造 2 階建、延面積 503.04 m²)を平成 29 年 9 月 1 日(金)に竣工しました。

神戸薬科大学は、神戸市、東灘区などの自治体並びに薬剤師会をはじめとする地域の医療団体と連携し、研修会や講演会、地域健康サポート・カフェを開催し、地域住民の健康増進に寄与することを旨とした活動を行うとともに、地域に根ざした学生の教育を展開していきます。

当センターは、活動を通じて地域住民の健康課題を見出すとともに、その解決法や健康状態の新たな指標の探索とその解析法を本学の研究によって見出し、それを地域社会に還元するための拠点としての役割を果たします。

当センターで行います「科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動」を通じて大学の三つの役割である教育・研究・社会貢献活動を展開してまいります。

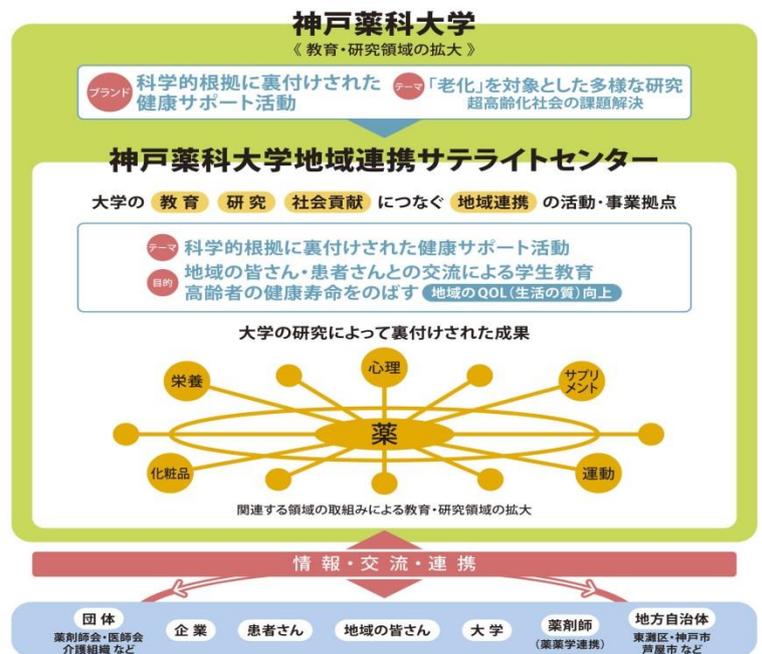
●センターの主な取り組み

【地域の皆さん向け】

- ・健康サポートセミナー（東灘区役所連携事業）
- ・健康度測定（血管年齢、骨密度、肌年齢測定 他）
- ・地域健康サポート・カフェ
- ・喫煙防止・受動喫煙防止活動

【薬剤師向け】

- ・薬科大学と臨床現場を繋ぐセミナー
- ・薬剤師実践塾などの 100 人規模程度で行う生涯研修



お問い合わせ先

神戸薬科大学 企画・広報課

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町 4 丁目 19-1

TEL: 078-441-7505

FAX: 078-414-8081

E-mail: kikaku@kobepharm-u.ac.jp

URL: <http://www.kobepharm-u.ac.jp>

竣工式の様子



竣工祝賀会の様子

竣工祝賀会では、主催者を代表して、宮武 健次郎 理事長より挨拶があり、続いて、日本私立薬科大学協会の 井上 圭三 会長よりご祝辞をいただきました。

続いて、宮武 健次郎 理事長より建設会社へ感謝状が贈呈され、北河 修治 学長による乾杯の発声があり、祝宴に移りました。



健康サポートシンポジウム

テーマ：「地域連携と健康サポート」

開会挨拶 神戸薬科大学学長 北河 修治

挨拶 神戸市長 久元 喜造 様

挨拶 厚生労働省 医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長 磯部 総一郎 様

パネルディスカッション

(パネリスト) 厚生労働省 医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長 磯部 総一郎 氏

東灘保健センター長 片上 祐子 氏

神戸市東灘区薬剤師会会長 上田 康二 氏

地域医療従事者(有住吉赤壁薬局 兵庫県薬剤師会相談役 赤松 路子 氏)

市民の代表(「ひまわり」キララ住吉元気教室リーダー 松原 緋紗子 氏)

神戸薬科大学学生代表(5年次生:青柿和樹、岩本理紗子)

【座長】神戸薬科大学臨床特命教授 高尾 宜久

挨拶 東灘区長 稜野 敦雄 様

今後の活動予定及び閉会挨拶 北河 修治 神戸薬科大学学長

健康サポートシンポジウムの様子

北河 修治 学長から開会の挨拶があった後、「健康創造都市 kobe」を推進する久元 喜造 神戸市長より、「地域連携サテライトセンターが、市民の健康サポートをはじめ、市民の医療・介護・健康・福祉に携わる関係者と、学生及び大学関係者との連携の場、大変重要な拠点となることを大いに期待します。また、本日のパネルディスカッションで様々なアイデアが提案されることを期待します。」とのご挨拶をいただき、続いて、厚生労働省の 磯部 総一郎 課長のご挨拶では、国が進める地域包括ケアシステムの考え方と、その中で期待される薬局・薬剤師のイメージの紹介と、薬局ビジョン、健康サポート薬局についての解説をいただきました。

続いて、「地域連携と健康サポート」のテーマのもと、パネルディスカッションに移りました。

パネルディスカッション終了後には、本学と連携協定を締結している神戸市東灘区から、稜野 敦雄 東灘区長から、総括をいただきました。

最後に、北河 修治 学長から、「科学的根拠に裏付けされた健康サポート活動」を本学のブランドとして、地域における健康サポート活動を推進し、地域に根ざした学生の教育を展開し、薬学領域の拡大と高度化を推進する地域の拠点として当センターが担う役割と今後の活動予定について説明があった後、本日のお礼があり、終了となりました。



